

参加募集

第25回環境技術学会年次大会



■期日:2025年10月20日(月) 研究発表会・講演会・表彰・交流会

■会場:大阪工業大学大宮キャンパス(大阪市旭区大宮5丁目16-1)

■主催:環境技術学会 ■共催:大阪工業大学・日本水環境学会関西支部・廃棄物資源循環学会

※共催の日本水環境学会・廃棄物資源循環学会会員も会員価格で聴講できます。

大会専用サイト(年次大会案内URL): http://jriet.net/blog_taikaiinkai/ (QRコード)からお申し込み下さい

土木学会認定CPDプログラム認定番号:JSCE25-1254 単位数:5.0単位

(1)聴講者参加費:会員 6,000円、学生会員 4,000円、非会員 10,000円

(2)講演会のみの参加費:会員 1,000円、非会員 2,000円(年次大会参加者は、申込なしで参加できます)

(3)交流会参加費:一般(会員・非会員) 7,000円、学生会員 3,500円 ※聴講と一緒に申し込みください。

(4)申込スケジュール:2025年5月12日(月) ~ 10月10日(金)

※聴講と交流会とも、当日、会場でも参加申込みを受け付けます。ただし会場でのお支払いの場合は、1,000円の追加料金をいただきます。できるだけ事前に申し込みの上、10月10日(金)の期限までに事前支払いをお済ませください。

(5)予稿集の公開:予稿集PDF版は10月初旬に大会専用サイトに掲載します。

※発表者・聴講者(講演会のみの参加者を除く)全員に、カラー版の予稿集(A4判の印刷冊子)を、当日、受付で配布します。

お問合せ先:環境技術学会大会委員会 (E-mail) taikai_info@jriet.net

全体プログラム

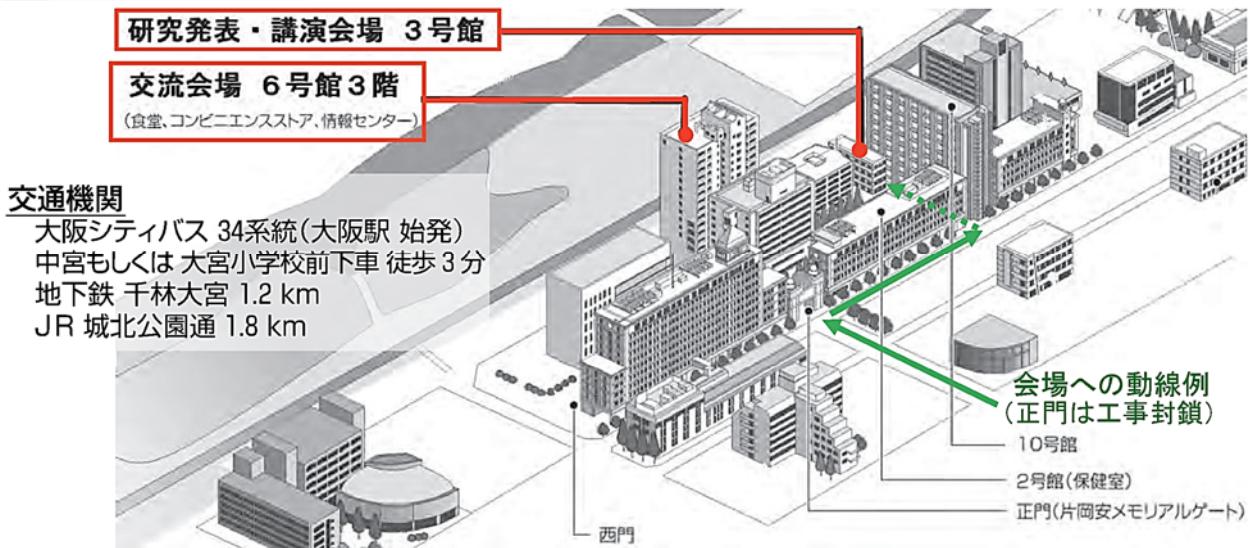
9:00~ 9:30	受付	14:15~15:00	研究発表会 第4セッション(2会場)
9:30~10:30	研究発表会 第1セッション(4会場)	15:15~16:30	講演会
10:45~11:45	研究発表会 第2セッション(4会場)	16:30~17:15	表彰式・閉会式
13:00~14:00(14:15)	研究発表会 第3セッション(4会場)	17:30~19:00	交流会

研究発表会(会場:3号館) (P:プレゼンテーション賞対象, U:実務・社会貢献賞対象) 座長/副座長

会場	Room A(331号室)	Room B(332号室)	Room C(341号室)	Room D(342号室)
分野	A1(1)【資源循環ほか】P 駒井幸雄/浅野昌弘	B1(1)【土・水環境】P(2-4) 島田洋子/中西智宏	C1(1)【地球環境ほか】 船坂邦弘/仲上健一	D1(1)【バイオ燃料・汚水処理】 水原詞治/沈尚
9:30 ~ 9:45	A1-1 加藤大晴(京都大) 京都市における家庭系小形電池および電池内蔵小型家電の排出実態調査	B1-1 Hokamp Maike(Tübingen大) Analysing the root microbiome of rice roots associated with iron toxicity tolerance	C1-1 本庄孝子(元産総研)環境を取り巻く世界の情勢・ネイチャーポジティブ	D1-1 Li Jingnan(京都大)温度が <i>Microcystis</i> 属の増殖・脂質蓄積量に与える影響の評価
9:45 ~ 10:00	A1-2 島崎雅(大阪工大) 気相試料捕集方法の検討・タンデムピペット法とインピングヤー法との検討	B1-2 Chinbat Zaya(岐阜大) Exploring the relationship between land use/land cover changes and the urban water cycle for sustainable urban design: A case study of the Selbe river basin in Mongolia	C1-2 佐野寛(地球エネルギーシステム研究所)太陽光反射材による地球温暖化抑制(2)	D1-2 大沼みお(広島商船高専) 微細藻燃料実装化に向けた培地の検討
10:00 ~ 10:15	A1-3 孫逸竹(東北大)MBR型高負荷 A/O プロセスを用いた下水処理と資源回収	B1-3 ABD Aziz Amin(立命館大) Anaerobic biodegradation of Reactive Black5: Decolorization efficiency and toxicity assessment	C1-3 西川泰弘(大阪教育大)環境モニタリング技術としてのインフラサウンド: センサーと観測例の紹介	D1-3 渡辺信久(大阪工大)嫌気性環境下での硫黄の物質変換を熱力学的に考察する
10:15 ~ 10:30	A1-4 川村祐介(大阪工大)加圧型バイオメタネーションの連続運転特性の研究	B1-4 セン・ショカン(立命館大)貧毛類を導入した接触酸化法による汚泥減容化のラボスケール実験	C1-4 土佐光司(金沢工大)2,4,6-トリクロロアニソールの金属有機構造体による吸着	D1-4 高浪龍平(大阪産大)化学線量計を用いた構造の異なる外照型紫外線照射装置の評価
分野	A1(2)【資源循環・汚染物質】P 横田恭平/駒井幸雄	B1(2)【水道】P 中西智宏/島田洋子	C1(2)【微生物・廃棄物】 仲上健一/船坂邦弘	D1(2)【汚水処理】 沈尚/水原詞治
10:45 ~ 11:00	A1-5 西村由稀(大阪工大)加圧メタネーションによるメタン生成菌の動力学的パラメータ算出	B1-5 Li Wenqing(岐阜大) Development of membrane filtration system combining GAC with both antimicrobial and adsorption functions for drinking water treatment	C1-5 西澤里香(㈱近畿地域づくりセンター)底泥表層の大腸菌が河川水質に与える影響	D1-5 澤田和子(立命館大)ラボスケール人工湿地によるリアクティブオレンジ16の脱色前後の毒性評価
11:00 ~ 11:15	A1-6 丁含含(大阪工大)バイオメタネーションにおける泡沫充填型とトリクルベッド型リアクタの性能比較	B1-6 Kong Lingxu(岐阜大) Silver-loaded activated carbon for drinking water treatment: antibacterial durability and associated impact on organic matter removal	C1-6 赤尾聰史(同志社大)施設栽培ナスにおけるかん水同時施肥区と慣行施肥区の土壤細菌叢比較	D1-6 上田恵美(大阪公立大)海面埋立処分場内の硝化阻害性要因の探索

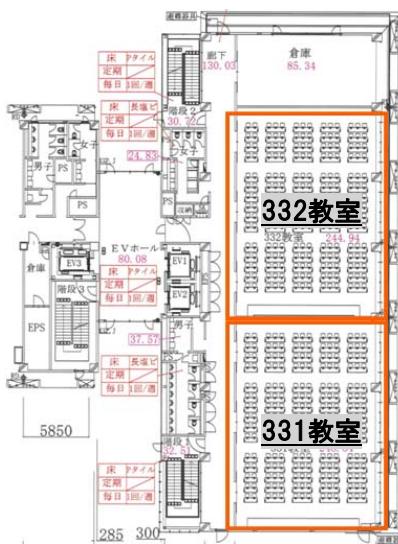
11:15 ～ 11:30	A1-7 西村勇虹(大阪工大) 酸化条件下における廃水銀等処理物の水銀溶出挙動	B1-7 Wutyi Naing(京都大) Tracing fecal contamination from environment to stored drinking water: A structural equation model analysis in peri-urban Lusaka	C1-7 藤川陽子(京都大) Chernobyl避難区域内の廃棄物トレンド周辺調査	D1-7 大國慎弥(摂南大) 反応速度論に基づく装置設計と運転制御のための下水オゾン処理の評価
11:30 ～ 11:45	A1-8 藤田昂志(滋賀県立大) 水田流域からのマイクロプラスチックおよびマイクロカプセルの流出	B1-8 Nadya Diva Sagita(岐阜大) Chlorination-mediated bacterial lysis as a potential driver for antibiotic resistance gene dissemination in tap water of Japanese water supply systems		D1-8 谷口将平(大阪公立大) 下水汚泥焼却施設における閉塞物の調査
分野	A2(1)【汚染物質】P 橋口亜由未／浅田安廣	B2(1)【汚水処理】P 野村 洋平／川崎悦子	C2(1)【実務・社会貢献賞】(1-3) ／河川】中島淳／櫻井伸治	D2(1)【廃棄物】 酒井 譲／広谷博史
13:00 ～ 13:15	A2-1 古井真(岐阜大) ベトナム国ハノイ市における路面塵埃中のタイヤ酸化防止剤 6PPD の存在実態調査と雨天時流出の評価	B2-1 小嶋悠太(立命館大) オゾンファインバブルによる難分解有機物の易分解性に及ぼす影響要因の検討(その2)	C2-1 藤原拓(京都大)京都大学・清華大学環境技術共同研究教育センターの20年間の歩み	D2-1 野本直樹(宇部工業高等専門学校)地方の下水処理場と清掃工場が連携した場合のエネルギー収支の試算
13:15 ～ 13:30	A2-2 竹内柊登(大阪工大) 元素分析に用いられる燃焼分解法をPFASに適応すると無機化がどれほど達成されるのか	B2-2 西平幸生(株日吉)し尿処理施設における活性汚泥生物相と処理水質との関連性	C2-2 原田英典(京都大) ザンビア未計画居住区での参加型リスク可視化による水・衛生改善アプローチ	D2-2 阿部憲一(新潟食料農業大)バランゴンバナナ皮の連続メタン発酵特性とその微生物群集の把握
13:30 ～ 13:45	A2-3 田上陽菜(新潟食料農業大)クラフトビール製造時に発生する廃棄物の水耕栽培および観賞魚飼育への活用	B2-3 夏偉哲(東北大)PDA型脱窒法を実現する下水処理システムの研究	C2-3 宮田篤(メタウォーター総合研究所(株))高速ろ過技術の研究開発と水環境への貢献	D2-3 竹森晴香(株鴻池組)バッチ式乾式メタン発酵における発酵促進効果の検証
13:45 ～ 14:00	A2-4 中村楨吾(山口大) メタン生成細菌の低温適応を目的とした、微生物叢の挙動解明及び低温メタン発酵プロセスの高効率化	B2-4 松本尚也(東北大)HAP-PNA-PDAプロセスによる窒素とリンの同時除去の効率化	C2-4 中尾賢志(大阪市立環境科学研究センター)大阪市内上中下流域河川中マイクロプラスチックの挙動推定	D2-4 藤東直志(兵庫県大)木質バイオマス燃焼灰培地による海洋微細藻類の培養
14:00 ～ 14:15			C2-5 藤長愛一郎(大阪産大)光照射を用いた光合成による平野川の底質改善を目的とした室内実験	D2-5 田中駿(株日吉) し尿処理施設における曝気風量設定へのデータ活用
分野	A2(2)【微生物ほか】P 浅田安廣／橋口亜由未	B2(2)【測定技術】P 川崎悦子／野村 洋平		
14:15 ～ 14:30	A2-5 鹿田もも(奈良先端科学技術大)食品廃棄物がもたらす <i>H. mediterranei</i> のPHB 生産への影響	B2-5 多田悠人(京都大)精密質量分析による水道原水水質の異常検知に関する検討		
14:30 ～ 14:45	A2-6 福富純也(大阪工業大)においてセンサを用いたメタン発酵槽の状態評価に関する研究	B2-6 宇賀悠貴(高知大) イオンクロマトグラフィーを用いた水耕栽培用液体肥料に含まれる主要栄養塩類の同時定量法開発と施肥管理への応用		
14:45 ～ 15:00	A2-7 井上丈嗣(内外エンジニアリング(株))樹木診断結果を踏まえたサクラの移植の可否判定事例	B2-7 加藤颯(大阪公立大) デジタルビュレットを用いた飛灰溶出液の酸化還元滴定		
15:15～16:30	講演会(会場:3号館3階342号室) 『淀川上牧・鶴殿ヨシ原の再生』	座長:大阪工業大学 渡辺信久 教授 講師:大阪工業大学 綾 史郎 名誉教授		
16:30～17:15	表彰式・閉会式(会場:342号室) <論文賞, プレゼンテーション賞, 実務・社会貢献賞>			
17:30～19:00	交流会(会場:6号館3階学生食堂)			
誌上発表	P1-1 玉澤拓矢(室蘭工大), PHBの生分解に対する最終処分場土壤条件の影響評価 P1-2 松村優吾(室蘭工大), グリコール系プラスチック添加剤が生分解性プラスチックの微生物分解に及ぼす影響 P1-3 鈴木千賀(前山形大), AI・データサイエンス教育と自治体における環境政策評価への応用 P1-4 惣田訓(立命館大), アマモに対するMAPとコンポスト汚泥の施肥試験			

大阪工業大学 大宮キャンパス マップ



年次大会会場 教室配置図

受付は1階 エレベータ前



(3号館 4階)



第 25 回環境技術学会年次大会 講演会 (座長:大阪工業大学 渡辺信久 教授)

(1) 【講 師】 大阪工業大学 綾 史郎 名誉教授

略歴: 1974年 京都大学大学院工学研究科土木工学専攻 修士課程修了, 博士(工学)
専門: 河川生態環境, 河川工学, 河川水理学



【タイトル】『淀川上牧(かんまき)・鵜殿(うどの)ヨシ原の再生』

【講演要旨】 上牧・鵜殿産のヨシは雅楽で旋律を奏する簾築(ひちりき)の蘆舌(ろぜつ)に用いられる, ほとんど唯一のヨシである。2021年秋にはヨシを採取できない程, ヨシ原の劣化が進行し, 雅楽の存続を危ぶむ関係者による対策が行われている状況である。劣化は1950年代から始まっており, 本講演ではこれまでの劣化と様々な対策を概観し, ヨシ原の永続的な存続法を検討する。

(2) 聴講申込 ※団体会員は3名まで, 賛助会員は無制限で, 会員価格で参加できます。

講演会のみの参加費: 会員1,000円, 非会員2,000円 (年次大会参加者は申し込みなしで参加できます)

共催(予定)の水環境学会会員・廃棄物資源循環学会員も環境技術学会会員価格で参加できます。

申込方法: 大会専用のサイト(http://jriet.net/blog_taikaiinkai/)からお申し込みください。

※聴講の詳細については, 申込者にメールでお知らせします。

問合せ先 : taikai_info@jriet.net